

2025年1月31日

リコーリース株式会社

〈コード番号:8566 東証プライム市場〉

自社太陽光発電所のアルミ化推進による銅線盗難予防措置

～銅資源の健全なトレーサビリティを確保～

リコーリース株式会社（以下、当社）は、昨今頻発している太陽光発電所の銅線盗難という社会課題に対し、新たな対策として「らくらくアルミケーブル[®]」※の導入をお知らせいたします。

1. 背景

近年、世界的な銅の価格高騰により太陽光発電所における銅線の盗難被害が深刻化しています。加えて、銅資源の枯渇に伴い、復旧資材の調達に時間を要することで発電停止期間が長期化し、太陽光発電事業者だけでなく電力供給の安定性にも大きな影響を与えかねないことが社会課題となっています。

2. 概要

当社保有の関東近隣の高圧太陽光発電所において、古河電気工業株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：森平 英也、以下、古河電工）と古河電工産業電線株式会社（本社：東京都荒川区、代表取締役社長：徳田 繁）が開発・製造し、SFCC 株式会社（本社：神奈川県川崎市 代表取締役社長：川瀬 幸雄）が販売する「らくらくアルミケーブル[®]」を導入し、発電所内の銅線を順次アルミ導体ケーブル（以下、アルミ線）に切り替えます。アルミは銅と比較し電気伝導率が低く、発電効率が低下するという懸念がありますが、銅と比較し遜色の無い発電効率となるよう商品選定にも注力しております。先行してアルミ線を導入した当社発電所において、当社特許技術の「発電分析」を用いて発電量を検証・比較することで、発電効率の維持を確認しております。

アルミ線の切り替えは、銅線盗難後の復旧策としてではなく、盗難発生前の予防措置として実施いたします。手元に残る銅線の売却益に加え、計画的に切り替え工事を行うことで、発電停止による逸失利益を最小限に抑えることが可能となります。なお、銅線は当社と取引実績があり信頼のおける国内業者に回収を依頼し、その後のリサイクルまでのトレーサビリティを確保しております。これにより、盗難後の銅線の海外流出問題に対しても有効なだけでなく、廃棄物の積極的な再資源化を図っております。

※「らくらくアルミケーブル[®]」は日本における古河電工の登録商標です

3. 今後の展開

当社が展開しているサービス「ソーラーアシスト[®]」を通じて、当社以外の発電事業者に対し、アルミ線導入や資金提供の支援を行ってまいります。これらの活動を通じ、マテリアリティの一つに掲げる「クリーンな地球環境をつくる」を推進してまいります。

■ご参考

- ・特許技術を用いた太陽光発電所の推定発電量計算ツールを開発
<https://pdf.irpocket.com/C8566/KNIO/a5cB/S5ZG.pdf>
- ・太陽光発電事業を支援する Web サイト「ソーラーアシスト」を開設
<https://pdf.irpocket.com/C8566/Ts7h/fBKI/tgwm.pdf>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@r-lease.co.jp